



## 2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年6月13日

上場会社名 フィットイージー株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 212A URL https://fiteasy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國江 仙嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 藤原 祐次 TEL 058 (215) 8744  
 半期報告書提出予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	4,239	36.3	1,084	20.6	1,086	21.7	723	22.9
2024年10月期中間期	3,110	—	899	—	892	—	588	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	45.59	44.19
2024年10月期中間期	39.38	—

(注) 1. 当社は、2023年10月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2024年10月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。

2. 2024年10月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	6,281	3,383	53.9
2024年10月期	5,866	2,975	50.7

(参考) 自己資本 2025年10月期中間期 3,383百万円 2024年10月期 2,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2024年10月期期末配当金の内訳：普通配当14円、記念配当6円（東証スタンダード、名証メイン 上場記念配当）

3. 当社は、2024年1月23日付けで普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2024年10月期については、株式分割後の内容を記載しております。

### 3. 2025年10月期の業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	37.9	2,210	35.4	2,230	39.3	1,480	36.8	93.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料の6ページ「中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期中間期	15,890,250株	2024年10月期	15,840,000株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	－株	2024年10月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年10月期中間期	15,861,099株	2024年10月期中間期	14,940,000株

(注) 当社は、2024年1月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数については、2024年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間貸借対照表 .....	3
(2) 中間損益計算書 .....	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	6
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより個人消費の持ち直しの動きが見られる一方で、政治情勢の変動によるエネルギー等の原材料価格の高騰や消費者物価の上昇による消費の減速懸念や世界的な物価上昇や金利引き上げ等、個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するフィットネスクラブ業界におきましては、同業種の新業態による低価格帯ジムの出店やピラティススタジオ等のスタジオに特化した専門クラブの出店などフィットネスクラブは引き続き増加傾向にあります。

しかし、当社は、企業理念である、MISSION「新たなフィットネス文化の創造で世界を変えていく」を掲げ、VISION「FIT YOUR STYLE、FIT-EASYでは安心安全で楽しくご利用いただけるトレーニング環境を提供し、皆様の生活の一部となれる、世界一のアミューズメントフィットネスクラブを目指します。」を達成するべく、運動を続けることの重要性及び人々の新たな生活基準に沿った生活スタイルを提案するために、フィットネスマシンのみならずアミューズメント要素(スタジオ、高濃度酸素ルーム、ゴルフ、ラウンジ、サウナ、セルフエステ等)を取り入れたアミューズメントフィットネスクラブ(商標登録第6724824号)「フィットイージー」を日本全国に事業展開し、サードプレイス(自宅でもない職場でもない第3の場所)となる店舗運営によって、他社とは異なる差別化により、フィットネスクラブ業界においてもシェア獲得に繋がっているものと考えております。

また、当社ではBIツールの活用により、強固なデータ経営を推進しております。データ経営の推進により、会員様一人ひとりを点で捉える事で顧客満足度向上を目指した経営及び店舗運営に取り組み、フィットネスクラブ業界水準の退会率ではなく、当社独自の水準を設ける事で退会抑制に繋げております。

このような経営環境の中、当社は2025年4月に200店舗達成後も新規出店を続け、効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、店舗当たり会員数が堅調に推移したことにより、2025年4月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

#### ■フィットイージー店舗数及び会員数(直営店・FC店 合計)

店舗数 203店舗  
 会員数 174,028人

以上の結果、当中間会計期間における売上高は4,239百万円(前年同期比36.3%増)、営業利益は1,084百万円(同20.6%増)、経常利益は1,086百万円(同21.7%増)、中間純利益は723百万円(同22.9%増)となりました。

なお、当社はフィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間会計期間末における総資産合計は、6,281百万円となり、前事業年度末に比べ414百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が429百万円、差入保証金が330百万円増加した一方、現金及び預金が398百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は、2,898百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が110百万円増加した一方、契約負債が80百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、3,383百万円となり、前事業年度末に比べ407百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が中間純利益により723百万円増加した一方、配当により316百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年6月13日)公表いたしました「業績予想の修正(上方修正)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当中間会計期間 (2025年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,500,684	2,101,784
売掛金	704,831	1,133,899
商品	97,047	87,195
販売用不動産等	169,311	—
その他	302,350	419,230
貸倒引当金	△2,498	△2,365
流動資産合計	3,771,726	3,739,743
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	624,487	751,852
その他(純額)	595,769	531,740
有形固定資産合計	1,220,257	1,283,592
無形固定資産	8,392	68,081
投資その他の資産		
差入保証金	648,516	978,549
その他	217,986	211,665
投資その他の資産合計	866,502	1,190,215
固定資産合計	2,095,151	2,541,888
資産合計	5,866,878	6,281,632
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	439,335	549,532
1年内償還予定の社債	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	113,706	88,710
未払法人税等	299,906	383,386
資産除去債務	12,784	—
契約負債	365,168	284,517
賞与引当金	24,508	26,671
その他	393,879	313,290
流動負債合計	1,764,288	1,761,107
固定負債		
社債	270,000	212,500
長期借入金	157,169	119,075
資産除去債務	123,627	130,012
その他	575,840	675,695
固定負債合計	1,126,637	1,137,283
負債合計	2,890,926	2,898,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	509,860	510,387
資本剰余金	459,860	460,387
利益剰余金	2,006,232	2,412,466
株主資本合計	2,975,952	3,383,241
純資産合計	2,975,952	3,383,241
負債純資産合計	5,866,878	6,281,632

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
売上高	3,110,667	4,239,567
売上原価	1,920,200	2,705,195
売上総利益	1,190,466	1,534,372
販売費及び一般管理費	291,262	449,838
営業利益	899,203	1,084,533
営業外収益		
受取利息	1,997	2,605
受取手数料	3,347	3,852
その他	1,138	308
営業外収益合計	6,483	6,767
営業外費用		
支払利息	7,390	3,307
支払保証料	1,687	1,416
上場関連費用	4,000	—
その他	145	59
営業外費用合計	13,223	4,782
経常利益	892,463	1,086,518
税引前中間純利益	892,463	1,086,518
法人税等	304,177	363,484
中間純利益	588,286	723,034

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	892,463	1,086,518
減価償却費	87,770	82,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△89	△132
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,290	2,162
受取利息及び受取配当金	△1,997	△2,605
支払利息	7,390	3,307
売上債権の増減額(△は増加)	△298,437	△429,067
棚卸資産の増減額(△は増加)	△31,480	179,163
仕入債務の増減額(△は減少)	210,884	110,197
契約負債の増減額(△は減少)	2,325	△80,651
固定資産から棚卸資産への振替	187,518	—
その他	△1,322	△49,332
小計	1,058,315	902,269
利息及び配当金の受取額	1,997	2,605
利息の支払額	△7,819	△3,131
法人税等の支払額	△298,772	△299,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	753,721	601,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△242,049	△148,595
無形固定資産の取得による支出	—	△60,987
貸付金の回収による収入	8,974	7,788
長期前払費用の取得による支出	△6,054	△5,431
差入保証金の差入による支出	△110,761	△329,967
定期預金の預入による支出	△90,000	—
定期預金の払戻による収入	75,000	—
その他	11,733	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,157	△537,194
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	—	1,055
長期借入金の返済による支出	△269,915	△63,090
社債の償還による支出	△57,500	△57,500
リース債務の返済による支出	△44,138	△27,451
配当金の支払額	—	△316,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371,553	△463,543
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,009	△398,900
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,168	2,500,684
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,375,178	2,101,784

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

当社は、フィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

当社は、フィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。